

環境基本計画答申素案への反映を検討いただきたい主な事項（中間まとめ以降変更点）

①電力ひっ迫など社会経済状況を踏まえた対応

- エネルギー等対策本部会議やHTT・ゼロエミ推進協議会での議論を
戦略0にアップデート

②再エネ電力利用割合の2026年目標

- 2030年の目標達成に向けた**中間目標**として**2026年「再エネ電力利用割合30%」**
を設定

③パブコメ意見や関連審議会での議論

- **電力のピークカット**や**太陽光パネルのリサイクル**に係る取組などパブコメ意見を反映
- 自然環境保全審議会における**生物多様性地域戦略**に関する議論を反映

<目指すべき都市の姿>

- ✓ 深刻化する**気候危機・生物多様性**の損失や**感染症、エネルギー危機**を克服
- ✓ **サステナブル・リカバリー**により、50年、100年先も豊かで**持続可能な都市**を創造

「成長」と「成熟」が両立した、持続可能で、安心・安全、快適な

「未来を拓くグリーンでレジリエントな世界都市・東京」を目指す

- Global, Green & Resilient City - create a brighter future for all -

<目指すべき姿を実現するための3 + 1の「戦略」>

戦略0 危機を契機とした脱炭素化とエネルギー安全保障の一体的実現

- **気候危機とエネルギー危機は一体の課題**であり、一刻の猶予もない。
 - ✓ 総力戦で**「H T T（減らす・創る・蓄める）」**の取組を推進



エネルギー安全保障の観点からも不可欠な**脱炭素化施策**を抜本的に強化・徹底
カーボンハーフに向けた道筋を明らかに

戦略1 エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現

- 脱炭素とレジリエンス確保を同時に実現する①再エネの基幹エネルギー化等
 - ✓ ①PV・①EV充電器設置、④断熱・省エネ性能の義務化等によるゼロエミッション化
 - ✓ 2030年50%の**中間目標**として、**2026年「再エネ電力利用割合30%」**を設定
 - ✓ ①ZEV化の加速や再エネ拡大・エネ安定供給に資する①①**水素利用の更なる促進**
- 持続可能な消費・生産、サーキュラーエコノミーへの転換

戦略2 生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現

- 生物多様性の**保全と回復**、持続的な利用、理解と行動変容に資する施策の推進
 - ✓ 生物多様性を回復軌道に乗せる = **ネイチャーポジティブの実現**
 - ※ **生物多様性地域戦略改定**に係る自然環境審議会の議論の内容を反映

戦略3 都民の安全・健康が確保された、より良質な都市環境の実現

- 世界の大都市で**最も水準の高い良好な大気環境**の実現
- 化学物質等による**リスクの低減**
- **強靱な廃棄物処理体制の確立** 等

➡ **3 + 1の「戦略」に基づく取組を横断的・総合的に推進し、実効性を向上**